

液体加温機

蒸す STEAM	切る CUT	炒める FRY	焼く BURN	潰す CRUSH	練る KNEAD	混ぜる MIX	冷やす COOL	濃縮 CONDENSE	揚げる FRY	搗く POUND	煮る BOIL	暖める WARM	溶かす MELT	造粒 GRANULATION
-------------	-----------	------------	------------	-------------	-------------	------------	-------------	----------------	------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------------

液卵・だし汁・ソースなど低粘度液体に対応
加熱調理の時短、焦付き防止、安定した生産に

液体加温機 EHS 型



EHS-12S

利用例：たまご焼成機

たまご焼きの調合液を冷えたままの状態でたまご焼成機に充填した場合、焼成ケースの温度が大きく下がってしまい、焼成機の焼成時間を長くしたり(能力低下)、こびり付きなどの焼成不具合を起こす要因になります。調合液を充填前に加温する事で、焼成時間の短縮、安定した生産、ロスの抑制が行えます。

調合・ストック



加温



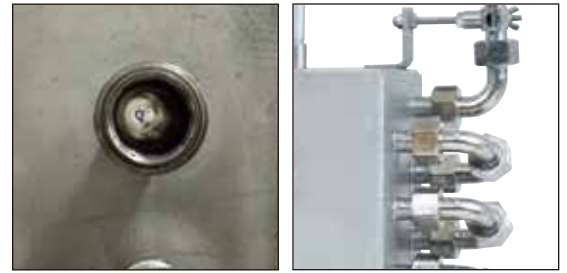
焼成機



液体加温機 EHS 型の特長

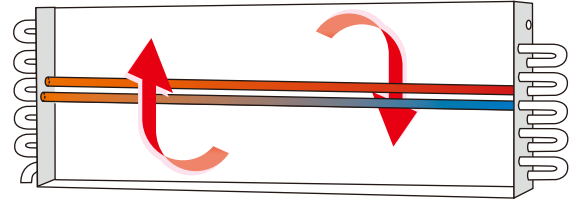
1. 直管が渡るシンプル構造

温水タンクの中を渡る配管内に液体が流れる事で湯煎加熱されるシンプル構造。サニタリーパイプを利用した配管で分解も簡単。キャスターも標準装備で洗い場までの移動も容易です。



2. 温水循環しながら均一加熱

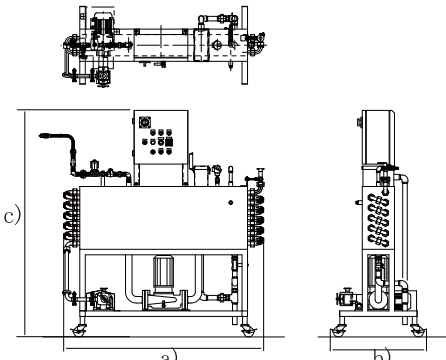
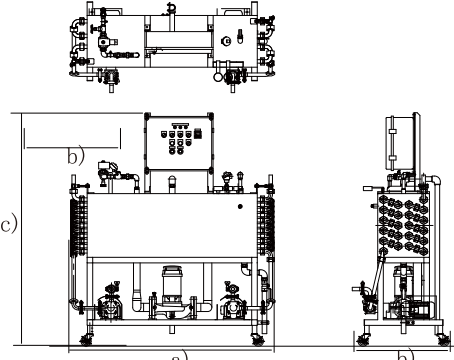
温水はタンク内で循環し、常に均一な温度に保つ温度調節機能付。温水を作り出す熱源には蒸気を採用。加温する液体に奪われた熱量を効率良く再加熱する事で、吐出口での熱ムラを大幅に抑制します。



3. 温水温度設定と液送ポンプの加減速で簡単設定

加熱源となる温水の温度設定と、液送ポンプの流量調整のみの簡単操作。インバーター変速が標準装備で、液送量は簡易に調整可能。



型 式		EHS-12S	EHS-24W
製品寸法 (W×L×H)	(mm)	1510×720×1690	1510×690×1720
電 源		3相 AC200V 50/60Hz	
電動機容量	(kW)	循環ポンプ:0.25 液送ポンプ:0.4	循環ポンプ:0.4 液送ポンプ:0.8(0.4×2)
液送変速方式		液送ポンプ:インバーター変速 循環ポンプ:一定速	
液送量	(L/min)	2.6~18.6(10~70Hz)	
蒸気最高使用圧力	(Mpa)	0.2	
所要蒸気量	(kg/H)	最大:39 常時:13	最大:52 常時:26
機械重量	(kg)	100	180
外形図			

※掲載している仕様は一例です。予告なく変更することがありますので、ご検討の際は仕様をお問い合わせください。